

患者さまへ

「CRRT 施行中の抗凝固管理指標として APTT 追加に関する検討」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2018年1月から2021年12月までに松原徳洲会病院で心臓血管外科の手術後に持続的腎代替療法(CRRT)を施行した方を対象とする。
2 研究目的・方法	CRRTの抗凝固管理指標としてはAPTTが適しているとされているがACTでも代用可能とされ、一般的にベッドサイドでも測定可能なACTが用いられているケースが多い。当院でも従来ACTでの抗凝固管理を行っていたが、2020年1月より心臓血管外科症例に関してはAPTTも抗凝固管理指標として追加した。APTTの追加により出血や回路内凝固に伴うトラブルが減少したかを後方視的に検討する。 研究の期間:施設院長許可後～2024年4月
3 情報の利用拒否	同意いただいた後であっても、いつでも撤回できます。情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、体重、CRRT施行記録、ACT、APTT等
5 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 氏名:松本優輝(研究責任者) 病院名・所属、職位:松原徳洲会病院 臨床工学科、副主任 住所:大阪府松原市天美東 7-13-26 連絡先:072-334-3400

2022年11月18日作成 (第1版)